

一般社団法人 日本薬学教育学会 第1回理事会 議事録

開催日時：令和3年7月12日（月）10：00～12：00

開催場所：WEB会議システム（ZOOM）による開催

理事：乾 賢一、中村 明弘、有田 悦子、入江 徹美、奥田 真弘、亀井 美和子
木内 祐二、鈴木 匡、西口 工司、長谷川 洋一、

<欠席>：石川 さと子、小佐野 博史、高橋 一栄、武田 香陽子、永田 泰造、
安原 智久

監事：林 正弘、吉富 博則

事務局：斎藤 渉、村上 聡

議事：

定款第35条第2項に基づき、議事録には乾理事長と林監事、吉富監事が署名又は記名押印することが確認された。

1. 前回理事会議事録案について（承認事項）

中村理事より議事録（案）に基づいて前回理事会の議事内容が報告され、議事録として承認された。

2. 2020年度事業報告（案）について（協議事項）

事務局において前年度の事業報告に基づいた原稿を作成し、理事に校正を依頼することとした。また、各担当理事には2020年度の新たな活動について事業報告に追記するよう依頼された。

3. 2020年度決算見込みについて（協議事項）

亀井理事および事務局より資料に基づいて2020年度の決算見込みが報告された。

2020年度は2020年7月1日から2021年6月30日で、収入の合計は16,060,991円、支出の合計は13,548,190円で、2,512,801円の収入超過が見込まれる。

4. 2021年度事業計画（案）について（協議事項）

事務局において前年度の事業計画に基づいた原稿を作成し、理事に内容の確認と加筆修正が依頼された。

5. 2021年度収支予算（案）について（協議事項）

亀井理事より2021年度の収支予算（案）の策定における検討事項について確認を行った。オンライン開催となった第6回大会の収支については、当初の趣意書に記載した通り6,990,000円を計上することとした。理事会等の会議はオンライン開催が続いていることから、旅費・交通費および会議費は減額して計上する。

6. 第6回大会準備状況報告（報告事項）

長谷川理事より第6回大会の準備状況が資料に基づいて報告された。シンポジウムが16題、ワークショップが3題で、タイトル、オーガナイザー、日程を大会ホームページ

で公開している。一般演題の登録（5/25 締切）は 70 題で、ZOOM のブレイクアウトルームを用いて示説を行う。ワークショップは 7 月 18 日が参加登録締切であるが、募集期間の延長を検討している。開会式、大会長講演、学会賞受賞講演は Webinar 形式で実施する。現在の参加登録者数は 311 名で、目標は 400 名超としている。広告協賛企業は 18 社で 106 万円の協賛が得られた。参加登録の締切は 8 月 2 日で、要旨集の発送は 8 月 10 日頃を予定している。ワークショップの参加申し込みは 8 月 9 日（月）まで延長する予定である。

乾理事長から各理事に大会への参加登録者を増やすよう協力の依頼がなされた。

7. 総会 WEB 出欠席フォーム（案）、シナリオについて（協議事項）

事務局より資料に基づいて総会の WEB 開催案、ホームページの記事案、社員総会出欠連絡票兼入力フォーム、メール配信文案、機関会員回答用委任状案が提示された。社員総会を円滑に進行するため、中村理事と亀井理事は前年度と同様に学会支援機構の会議室から事務局と一緒にオンラインで出席することとした。第 7 回大会長（北里大学の岡田薬学部長）の総会での挨拶については有田理事が確認することとした。

8. 第 7 回大会準備状況報告（報告事項）

有田理事より第 7 回大会の準備状況が以下の通り報告された。

- ・ 開催日：2022 年 8 月 20 日（土）・21 日（日）
- ・ テーマ：「薬学人のアイデンティティを探る～自己実現を志向する薬学教育～」
- ・ 会 場：北里大学白金キャンパス
- ・ 大会長：岡田信彦（薬学部長）
- ・ 実行委員長：有田悦子

ハイコムに大会の準備・運営のサポートを依頼した。懇親会は開催しない。

シンポジウムの数を早めに把握するため、理事から提案があれば 7 月 19 日（月）までに送るよう依頼された。

開催日程、大会長等に関する情報を学会ホームページに掲載することとした。

9. 第 8 回大会開催校について（協議事項）

乾理事長から第 8 回大会の開催校として熊本大学薬学部が提案され、協議の結果、承認された。九州ではじめての開催となる。

10. 共催・協賛・後援基準内規案について（協議事項）

事務局から資料に基づき、対象を共催と後援の 2 種類に修正した案が提示された。承認プロセスについては、本学会の費用負担がない場合は総務担当理事、費用負担がある場合は理事会とした。個別の依頼に対して柔軟に対応できるように微調整した最終案を事務局で作成し、次回の理事会で提示することとした。

11. 編集委員会報告（報告事項）

入江理事より資料に基づいて J-Stage 公開状況、論文投稿、審査状況が報告された。

2021 年の新規投稿は 25 件で、採用 10 件、不採用 6 件、取下げ 1 件、審査中 8 件となって

いる。編集委員会で企画した「COVID-19 パンデミック下での薬学教育～レジリエントな教育システム構築に向けて～」はJ-Stage で公開しているが、特集号として冊子体を制作する準備を進めている。

乾理事長からは学会誌「薬学教育」を大切に育てていく方針が確認された。

12. 大会時の広報依頼について（協議事項）

他の学術団体等より大会等の学術集会中の広報を依頼されたときの対応について、受付と審議のプロセスを事務局で整理して提示することとした。

13. 会員登録状況報告（報告事項）

事務局より資料に基づいて6月30日時点の会員数と会費納入率が報告され、機関会員として和歌山県立医科大学薬学部が入会したことが紹介された。2020年度末の会員総数は797人（個人会員667、学生会員56、機関会員66、賛助会員8）であった。2020年度の会費滞納の状況を事務局で集計し理事長に報告するよう依頼された。

14. 関連学会の案内（the 6th AASP Pharmacy Education Forum）（報告事項）

乾理事長からホームページに基づいて the 6th AASP Pharmacy Education Forum の概要が紹介された。

15. その他

・ 倫理教育委員会報告

有田理事より資料に基づいて5月中旬に全77大学へ「薬学人育成のための倫理教育とその評価に関する調査」の結果を送付したことが報告された。第6回大会の1日目にワークショップ「“逆転の発想”で、薬学人の「倫理観」について考えてみよう」を開催することが紹介された。

・ 次回理事会について

大会前に理事会を開催するため日程調整を行うこととした。

以上の議事内容を明確にするため、本議事録を作成し、理事長及び出席監事がこれに署名捺印する。

2021年7月12日

一般社団法人 日本薬学教育学会

理事長 乾 賢一

監事 林 正弘

監事 吉富博則